



『払田柵跡Ⅰ—政庁跡—』刊行される

秋田県仙北郡仙北町にある、古代城柵跡として知られる払田柵跡の政庁地区部分の正式報告書が刊行された。扱っているのは一九七七年から八三年までに実施した第一二・一三・二八・三五・四七・五三次および補足調査である。これらの調査の結果、払田柵跡は外郭、内郭と政庁跡の複郭構造をなしていることや、政庁の構造・変遷などが明らかとなった。

内容は、第Ⅰ章 遺跡の概要、第Ⅱ章 払田柵跡をめぐる研究史、第Ⅲ章 調査の経過と記録の方法、第Ⅳ章 遺構、第Ⅴ章 遺物、第Ⅵ章 考察、第Ⅶ章 結語、別編、付図、からなる。「別編」には、木簡二三点をはじめ、多数の墨書・刻書土器などを収録した「出土文字集成」と「払田柵跡関係文献目録」がおさめられている。

秋田県教育委員会払田柵跡調査事務所編集、秋田県埋蔵文化財振興会発行、三〇五頁、頒価五、五〇〇円、**千五〇〇円**